

室外編

外部建具

玄関ドア・勝手口ドア

外に面しているドアは、砂ぼこりなどで汚れやすい場所です。汚れを放置して、傷みの原因となるよう、こまめなお手入れが必要です。

お手入れ方法

金属製ドアの場合

- ホコリなどは、カラ拭きしてください。
- 汚れが目立つときは、住まい用洗剤を使い、その後水拭きをし、カラ拭きしてください。

木製ドアの場合

- 木製のドアは、水拭きはしないで、カラ拭きしてください。特に木製ドアは、水に弱いので、雨が降った後は必ず、水分を拭き取る習慣を付けましょう。
- 月に1~2度、専用ワックスで磨くと、美しさが保て、耐久性もよくなります。

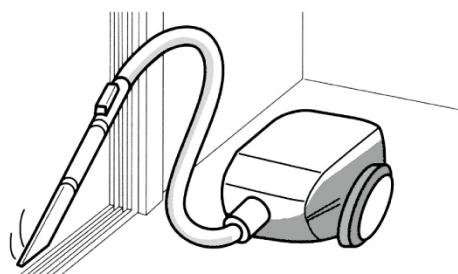
注意

- 変色やキズの原因となるので、シンナー・ベンジン・クレンザー・たわしなどを、使わないでください。
- 鍵のしまりが悪くなったときは、市販の錠前滑りを利用してください。
- ミシン油などをさすと、かえってホコリなどが付き、滑りにくくなります。

サッシ

お手入れ方法

- ホコリなどは、乾いた雑巾でカラ拭きしてください。
- カラ拭きしただけでは落ちない汚れは、住まい用洗剤を薄めたものを使い、水拭きします。水拭きの後の、カラ拭きも忘れないようにしましょう。
- サッシのレールに溜まったホコリやゴミは、掃除機で吸い取ります。歯ブラシなどを使うと、細部に効果的です。
- その後、水拭きをし、さらにカラ拭きします。



注意

- アルミはアルカリ性の洗剤に弱いので、使用しないでください。
- 変色や変質の原因となる、シンナー・ベンジン・クレンザー・たわしなども、使わないでください。

窓ガラス

窓ガラスがきれいになっていると、家全体の印象がきれいに見えます。窓ガラスのお手入れは、こまめにしましょう。

お手入れ方法

- 固く絞った雑巾で拭いてください。
- ひどい汚れの場合は、ガラス用スプレー洗剤を使用します。
- スクウェイジーを利用するのも効果的です。



- 水に浸した新聞紙を、よく絞ってからガラスを拭くと、驚くほどきれいになります。これは、新聞のインクの成分と、石油系の溶剤の相互作用によるものです。
- スリガラスは、カラ拭きしてください。
- カラ拭きで落ちない、手垢などの汚れは、雑巾にガラス用洗剤を含ませて、拭いてください。

注意

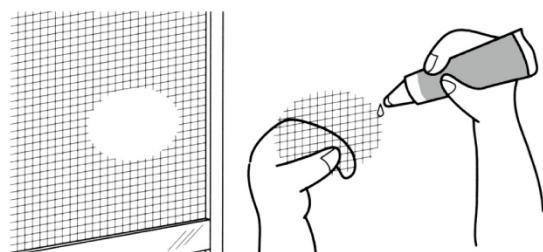
- 高いところの窓ガラスのお手入れは、くれぐれも気を付けてください。
- ガラスにヒビが入ってしまったときは、応急処置として、ガムテープなどを貼ってください。セロハンテープは使用しないでください。
- 応急処置をしたまま放置せず、ガラスの取り替えは、早めにしましょう。

網戸

網戸はホコリが溜まりやすい場所です。そのままにしておくと、風通しが悪くなり、傷みの原因となるので、定期的なお手入れを心がけましょう。

お手入れ方法

- 乾いた大きめのスポンジで、表と裏の両側から挟み、ホコリを落とします。ときどき、スポンジの汚れをはたいて、繰り返しましょう。
- ひどい汚れの場合は、水洗いをします。
- 網戸を外し、住まい用洗剤を含ませた、スポンジやブラシで洗います。この後、ホースなどでよく水をかけ、乾かしてください。
- 保管する際は梱包すると、網戸が長持ちします。
- 網戸に穴が開いたときは、補修することをおすすめします。
- 網戸が破れたときは、破れた穴の形を整え、新しい網を穴よりやや大きめに切り、ビニール用接着剤を塗って押さえます。



注意

- 網戸は、ガラス戸に比べると強度が弱いため、開閉にも気を付けてください。
- 転落する危険もありますので、お子様がもたれかかったりしないよう、特にご注意ください。

外壁

サイディング・ALC

外壁は、住まいを守る重要な部分です。スペースが広いため、なかなかこまめにはできませんが、年に1度はお手入れをしましょう。

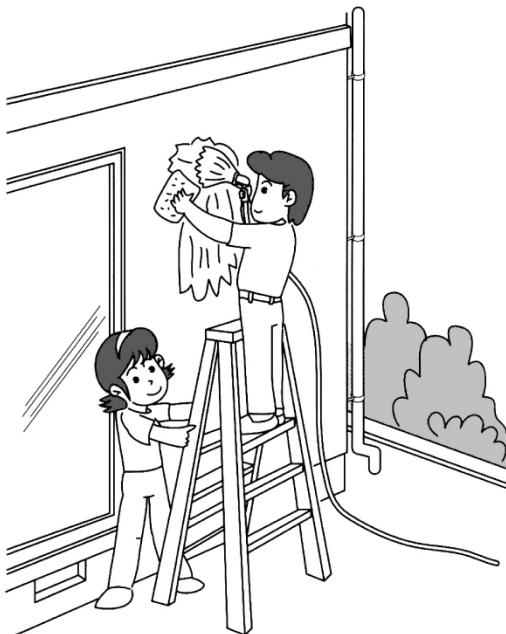
お手入れ方法

- 砂ボコリなどの汚れは、ホースの水で洗い流します。この時、上から下に洗い流すようにしてください。
- 泥などのしつこい汚れは、住まい用洗剤をスポンジやブラシに付けて、軽くこります。その後、水で充分洗い流します。
- 換気扇の排気口のまわりは、油などの汚れが付いていますので、住まい用洗剤を付け、汚れを浮き上がらせてから、スポンジやブラシでこするとよく落ちます。その後、充分な水洗いをしてください。
- 外壁は長い時間が経つと、汚れが目立つようになり、色あせできます。色あせが目立つようになると、見た目が悪いだけでなく、防水性も低下してきます。
- 手で触れて、表面塗装が手に付くようであれば、塗り替え時期のサインです。
- 目安は5~10年といわれています。

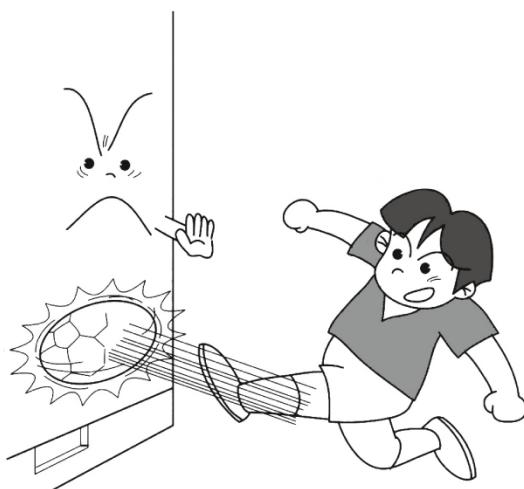
注意

- 壁の高い部分をお手入れするときは、大変危険を伴います。誰かに足場を支えてもらうなどして、しっかりとした安全対策をとつてください。
- 水洗いする際は、高い水圧にすると、建物

内へ浸水する危険があります。特にサッシまわりには、気を付けてください。



■ 外壁にボールなどを当てると、はく離や損傷の原因になります。お子様がボール遊びなど、しないように注意してください。



屋根・雨樋

屋根

屋根は建物にとって、最も重要な部分です。雨・風をしのぎ、厳しい自然と直面していますので、定期的な点検をおすすめします。

お手入れ方法

- 年に1~2度は、キズや破損がないか、点検しましょう。特に台風の後などは、念入りな点検が必要です。
- 屋根瓦は本来耐久性があり、変色・退色しにくいのですが、材質によっては塗装が劣化する場合もあります。
- 飛来物などで屋根が傷ついたり、破損したときは、応急処置として、コンクリートボンドや強力接着剤を使い、専用の補修塗料などを塗り込みます。
- 屋根を直すには、専門の知識が必要になってきます。劣化や破損した際は、応急処置で済ますのではなく、専門業者にご相談ください。



注意

- 点検など、高いところの作業となります。しっかりと、安全対策をとってください。

雨樋

雨樋は、落ち葉やゴミが溜まりやすい場所ですが、下からだとなかなか見えにくいものです。屋根といっしょに点検しましょう。

お手入れ方法

- 軒樋の落ち葉やゴミなどを放置すると、雨水の流れが悪くなります。
- 小さめのほうきなどで掃いて、取り除いてください。
- 縦樋に、排水管カバーがある場合は、中のゴミも取り除いてください。



注意

- 軒樋にゴミや落ち葉が溜まると、雨水が溢れる場合があります。
- 屋根や雨樋の点検に、ハシゴを立てかける際、樋の破損にご注意ください。

バルコニー・濡れ縁

バルコニー

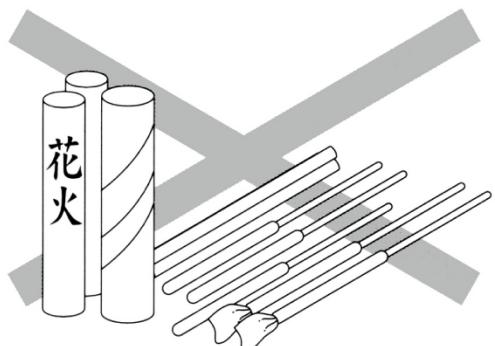
バルコニーには、防水シートが貼られています。このシートは、防水機能に優れていますが、度を超した水の使用は避けてください。

お手入れ方法

- ホコリやゴミなどは、ほうきなどで取り除き、時々、水洗いしてください。
- 排水口もゴミで詰まらないよう、注意してください。
- 手すりなどは、水拭きしてください。

注意

- クーラーの室外機などを置く場合は、その下にコンクリートブロックなどを敷き、重さが均等になるようにしてください。
- 防水シートに傷が付くと、雨漏りの原因になりますので、傷を付けないよう、注意してください。
- もし、傷が付いてしまったときは、ガムテープなどを貼って、応急処置をした後、専門業者にご相談ください。
- 剥がれを防ぐためにも、タバコの投げ捨てや花火は、絶対にしないでください。



- 植木鉢などを置くときは、水や土が溜まらないよう、受け皿を必ず敷いてください。

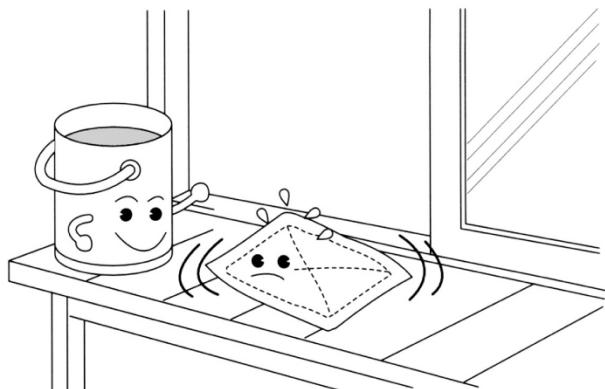


- 防水シートのメンテナンスを、入居10年目には、受けてください。

濡れ縁

お手入れ方法

- こまめな雑巾がけを心がけましょう。



- 木部に傷ができた場合は、汚れなどを落とし、パテ埋めをした後、市販の塗料を塗って、補修します。
- オイルステイン仕上げは、時間の経過とともに、退色・剥がれなどが見られるようになります。市販の塗料を塗り直すか、専門店にご相談ください。